

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年2月27日

施設名	黒潮町地域特産品処理加工施設	所管課	産業推進室産業推進係
-----	----------------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	株式会社 黒潮町缶詰製作所	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日
施設所在地	黒潮町入野4370番地2		
事業内容	<p>町の特産品を活用した加工品の製造及び販売を一体的に運営する仕組みをつくることにより、地場産業を創設し、もって就労の機会の拡大と生産者の所得向上を図るため、黒潮町地域特産品処理加工施設(以下「加工施設」という。)を設置する。</p> <p>指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。</p> <p>(1) 加工施設の運営に関する業務 (2) 加工施設の維持及び管理に関する業務 (3) 加工施設の利用許可等に関する業務 (4) 加工施設の設置目的を達成するため必要な業務 (5) その他加工施設の管理運営に関し町長が必要と認める業務 (6) 特産品を活用した加工品の製造及び販売に関する業務 (7) 防災関連食品の製造及び販売に関する業務 (8) 施設にかかる各種計画の目標を達成するために必要な業務 (9) 前各号に掲げるもののほか、施設の設置目的を達成するために必要な業務</p>		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>名称: 黒潮町地域特産品処理加工施設 住所: 高知県幡多郡黒潮町入野4370番地2 敷地面積: 2,941.15㎡ 延床面積: 637.89㎡ 構造: 木造平屋建及び鉄骨平屋造 工場、工場(缶詰ラボ)、倉庫、休憩室等</p>		
職員体制	常勤職員: 2 人	非常勤職員: 16 人	合計: 18 人

2 収支の状況

単位:千円

		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)
収入	町支出金	-	-	
	売上高	119,716	111,690	
	その他収入	-	-	
	営業外収益等	841	3,349	
	収入計 (a)	120,557	115,039	
支出	事業費			
	管理運営費	3,448	3,327	
	人件費	29,348	31,869	
	その他	69,689	73,930	
	営業外費用	92	74	
	支出計 (b)	102,577	109,200	
収支差額 (a) - (b)		17,980	5,839	

3 利用状況

	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和 年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	缶詰製作所:18名 入野砂糖研究会等:30世帯 計:18名、30世帯	缶詰製作所:18名 入野砂糖研究会等:34世帯 計:18名、34世帯	
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 入野砂糖研究会の総会に参加し、集約した意見を聞きとりする。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 黒砂糖を継続して購入した。		
	○ その他 町内及び県内の原料を使用した商品を作ることで、一次産業や二次産業に従事される方の買い支えにも貢献している。また地域商社としての機能も有し、自力では外商に資源投入する余力のない事業者に対して、販売の機会を提供している。現在も規模を拡張している段階にあるが、一定数活用され地域貢献に寄与している。今後も継続して取り組むと共に積極的な原料の活用、地域商品の外商規模拡張を目指していく。		
③その他特記事項	町内及び県内の活用原料としては、 県内では、シイラ、はちきん地鶏、四万十ポーク、四万十鶏、四万十鮎、白焼きうなぎ、生姜、柚子、飲料水などがあり、 町内では、カツオ、ピンチョウマグロ、ぶなしめじ、にら、黒塩(藻塩)、天日塩、黒糖、グアバジュース等の取引を行い地場産業へ貢献している。		

4 令和3年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	建物・設備の保守点検については、修繕等の対応も適切に実施している。 また、施設内の清掃業務や施設管理等、適切な管理運営を行っている。
②地域経済や関係者との循環	関係者からの意見を受け、取引を継続し地域経済へ貢献した。 -黒糖取引の実績 【取引量】(令和3年度)639kg 【取引金額】(令和3年度)1,012,580円 地域商社として就労支援事業所ジョブなしろの商品を取り扱う。 【取引金額】 (令和3年度)23,684円
③地場産業貢献度	地域貢献度合いの目安になる一次産業や二次産業の取引原料種別は、 【令和3年度】 町内14種別、県内18種別 【増加内容】 土佐沖のカツオを仕入れることで町内産品の活用度合いが飛躍的に伸びた。 また、JA高知県佐賀支所から仕入れるシメジについて、前処理(石づきのカット)しての納品ができなくなったことを受け、集落活動センターであいの里蜷川による加工の仕組みを構築し、間接雇用を生むことが出来た。 【回数・金額】 カツオ(土佐沖):6,869kg・6,044,614円 しめじカット:2~3回/月・292,440円 【町内取引額】 12,906,909円(令和3年度) 【県内取引額】(町産品除く) 17,365,175円(令和3年度) 町内および県内の1次産業や2次産業の事業者との取引状況(域内購入率)は、取引全体額(49,832,341円)のうち60.75%である。
④収支の状況	令和3年度の収支状況は売上高111,690千円 営業利益4,218千円 当期純利益 5,839千円となっている。
総合評価	B 条例に定める維持管理や運営や基本協定書に定めている特産品を活用した加工品や防災関連食品の製造及び販売など、内容どおりの成果があり、適切な管理が行われていたため。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの